



2022年2月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量 11ヵ月ぶりに減、積込量は2ヵ月連続減、取卸量は11ヵ月連続増

概要

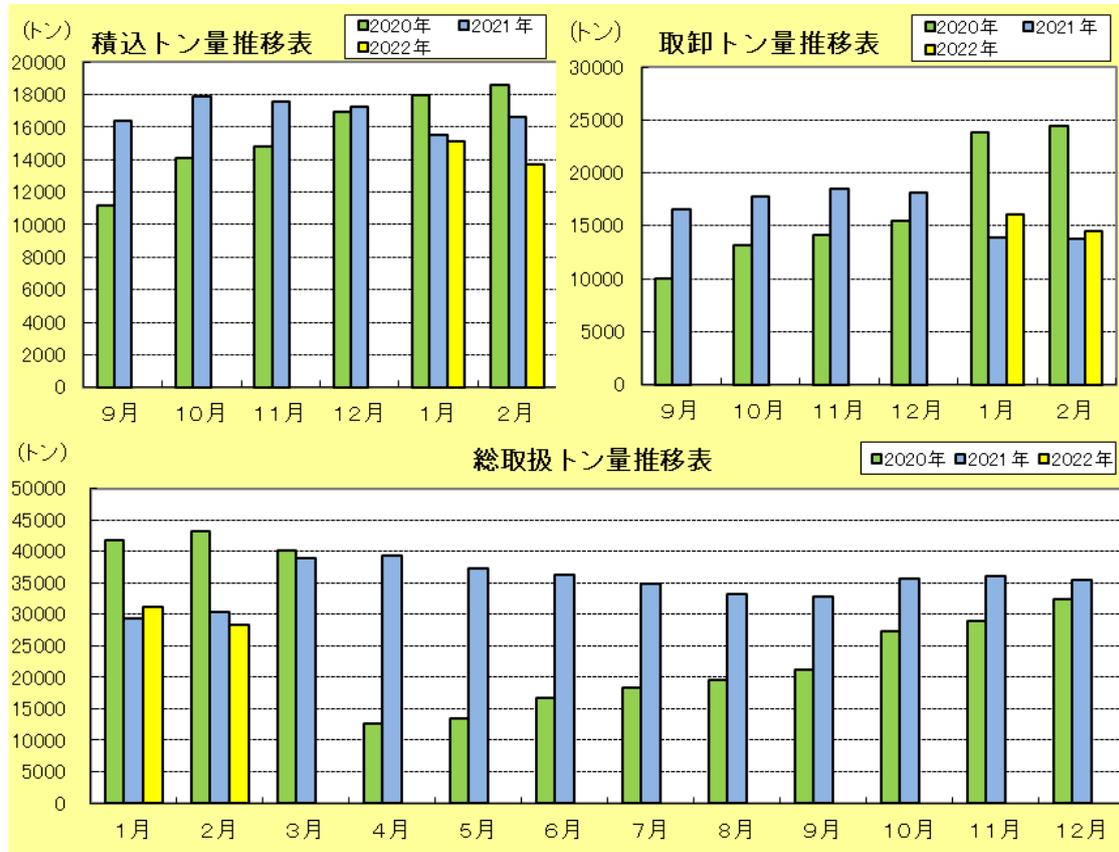
2022年2月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 28,254トン(前年同月比 6.8%減)

積込量 13,717トン(同 17.3%減)

取卸量 14,537トン(同 6.0%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量が11ヵ月ぶりにマイナス、積込量は2ヵ月連続でマイナス、取卸量は11ヵ月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出货量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 909トン(前年同月比 15.1%増、シェア10.8%)

その他地域通関 7,525トン(同 8.9%減、同 89.2%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は12カ月連続でプラス、その他地域通関は12カ月ぶりにマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 4,202トン(前年同月比 6.6%増、シェア 41.8%)

その他地域通関 5,855トン(同 34.1%増、同 58.2%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、11カ月連続でプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 5,283トン(前年同月比 29.8%減)

取卸量 4,480トン(同 17.2%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量は3カ月連続でマイナス、取卸量は2カ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年2月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 843トン(前年同月比 15.6%増、シェア 20.1%)

ドライ貨物 3,359トン(同 4.5%増、同 79.9%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等47.8%(前年同月比42.6%増)、水産物16.0%(同51.5%減)、果物14.6%(同170.6%増)、植物(切花等)11.2%(同80.2%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年2月			2021年2月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	4,202	106.6%	100.0%	3,943	53.9%	100.0%
生鮮	843	115.6%	20.1%	729	71.0%	18.5%
ドライ	3,359	104.5%	79.9%	3,214	51.1%	81.5%